

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 北海道財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第16期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社メディカルシステムネットワーク

【英訳名】 MEDICAL SYSTEM NETWORK Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 田尻 稲雄

【本店の所在の場所】 札幌市中央区北十条西二十四丁目3番地

【電話番号】 011(612)1069(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 平島 英治

【最寄りの連絡場所】 札幌市中央区北十条西二十四丁目3番地

【電話番号】 011(612)1069(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 平島 英治

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期 連結累計期間	第16期 第1四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	12,869,149	15,038,156	54,827,368
経常利益 (千円)	286,395	587,962	1,912,442
四半期(当期)純利益 (千円)	89,359	216,252	756,314
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	112,618	256,531	901,778
純資産額 (千円)	5,548,511	4,958,581	6,236,038
総資産額 (千円)	30,524,091	34,362,314	30,789,276
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	3.44	8.74	29.12
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	17.1	13.9	18.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しております。  
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 4. 純資産額には、株式給付信託が所有する当社株式が「自己株式」として計上されております。一方、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び自己資本比率については、上記の当社株式を自己株式とみなしておりません。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動については、以下のとおりであります。

当社連結子会社である株式会社ファーマホールディングが、平成25年5月1日付で株式会社サン薬局の全株式を取得し、さらに平成25年5月31日付で有限会社アンナ力薬局の全株式を取得いたしました。

また、当社連結子会社である株式会社コムファと株式会社エムアンドスリーは、平成25年4月1日をもって株式会社コムファを存続会社とする吸収合併を行いました。加えて、当社連結子会社である株式会社サンメディックと有限会社さつき薬局は、平成25年5月1日をもって株式会社サンメディックを存続会社とする吸収合併を行いました。

名称	住所	資本金又は 出資金 (千円)	主要な事業 の内容	議決権の所有 (被所有)割合 (%)	関係内容
(連結子会社) 株式会社サン薬局	島根県大田市	10,000	調剤薬局事業	100.0 (100.0)	受発注取引 運営管理
有限会社アンナ力薬局	群馬県安中市	3,000	調剤薬局事業	100.0 (100.0)	運営管理

(注) 1. 「主要な事業の内容」欄には、セグメントの名称を記載しております。

2. 「議決権の所有(被所有)割合」欄の(内書)は、間接所有であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における業績は、主力事業である医薬品等ネットワーク事業及び調剤薬局事業が堅調に推移したことから、売上高は15,038百万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。利益面につきましては、調剤薬局事業において処方箋応需枚数・処方箋単価が順調に推移したこと及び株式給付信託（J-ESOP）の導入コストがなくなったこと等により経費が抑制されたことから、営業利益630百万円（同90.9%増）、経常利益587百万円（同105.3%増）、四半期純利益216百万円（同142.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んであります。

#### 医薬品等ネットワーク事業

本事業に関しましては、中小薬局の新規加盟店数が順調に伸びたことに伴い受発注手数料収入が増加したこと等により、売上高は734百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益362百万円（同19.9%増）となりました。

なお、平成25年6月30日現在の医薬品ネットワーク加盟店数は、調剤薬局1,036店舗、27病・医院の合計1,063件（前連結会計年度末比30件増）となりました。

#### 調剤薬局事業

本事業に関しましては、新規出店及びM&Aにより店舗展開を行う一方、平成25年4月に株式会社エムアンドスリーを株式会社コムファに吸収合併し、平成25年5月に有限会社さつき薬局を株式会社サンメディックに吸収合併することで、間接部門の業務効率化を図りました。

出退店状況に関しましては、当第1四半期連結累計期間に調剤薬局2店舗を新規出店するとともに株式取得により2社（4店舗）、事業譲受により1店舗を取得する一方、1店舗を閉鎖しました。これにより、平成25年6月30日現在の店舗数は、調剤薬局275店舗（休止中の1店舗を除く）、ケアプランセンター1ヶ所、ドラッグストア12店舗となりました。

既存店舗の売上が堅調に推移したことに加え、前連結会計年度にM&Aにより取得した店舗の業績寄与等により、売上高は14,440百万円（前年同四半期比17.3%増）となりました。利益面につきましては、処方箋応需枚数・処方箋単価が順調に推移したこと及び株式給付信託（J-ESOP）の導入コストがなくなったこと等により経費が抑制されたことから、営業利益570百万円（同127.2%増）となりました。

### 賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、不動産賃貸収入が増加したことにより、売上高は294百万円（前年同四半期比6.7%増）となったものの、医療と介護の複合型施設として平成25年5月開業のサービス付き高齢者向け住宅「ウィステリア清田」（札幌市清田区）にかかる先行費用が発生したこと等により営業損失11百万円（前年同四半期は営業利益41百万円）となりました。

### その他事業

本事業に関しましては、株式会社エスエムオーメディシスが治験施設支援業務を行っております。本事業の売上高は57百万円（前年同四半期比4.6%増）、営業損失0百万円（前年同四半期は6百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は34,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,573百万円増加しました。

流動資産は9,107百万円となり、前連結会計年度末に比べ836百万円の増加となりました。主な要因は、売掛金及び商品の増加によるものです。固定資産は25,254百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,736百万円の増加となりました。主な要因は、賃貸・設備関連事業における建物及び構築物、土地の増加並びに2社の株式取得、1店舗の事業譲受によりのれんが増加したことによるものです。

負債の部は29,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,850百万円増加しました。流動負債は17,989百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,614百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金及び短期借入金の増加によるものです。固定負債は11,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,236百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものです。

また、純資産の部においては、4,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,277百万円の減少となりました。主な要因は、自己株式取得等によるものです。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発活動は、医薬品等ネットワーク事業の株式会社システム・フォーにおいて、既存の調剤システム「PHARMACY ACE」の後継機の開発に向けて、事前の情報収集活動を実施している状況であります。従って、当第1四半期連結累計期間において、研究開発費は発生していません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備について、当第1四半期連結累計期間に完成したものは、次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資総額 (千円)	完成年月
(株)日本レーベン	ウィステリア清田 (札幌市清田区)	賃貸・設備関連事業	サービス付き高齢者向け住宅	1,563,394	平成25年4月

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	72,000,000
計	72,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,969,600	25,969,600	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	25,969,600	25,969,600	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日		25,969,600		1,091,001		889,008

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日現在で記載しております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 1,100	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 25,966,900	259,669	-
単元未満株式	普通株式 1,600	-	-
発行済株式総数	25,969,600	-	-
総株主の議決権	-	259,669	-

(注) 1. 「完全議決権株式（自己株式等）」欄は、すべて当社保有の自己株式です。

2. 資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社株式は、「完全議決権株式（自己株式等）」欄の自己保有株式に含まれておりません。

3. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式5株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
（自己保有株式） 株式会社メディカル システムネットワーク	札幌市中央区北十条西二十四 丁目3番地	1,100	-	1,100	0.00
計	-	1,100	-	1,100	0.00

(注) 1. 当社は、平成25年5月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,080,000株を取得しております。この取得により、当第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は2,081,105株となっております。

2. 資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社株式は、上記自己株式に含まれておりません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2 第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位 : 千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,091,869	2,005,012
売掛金	1,513,728	2,097,678
債権売却未収入金	725,355	587,935
調剤報酬等購入債権	499,150	385,106
商品	2,150,186	2,555,209
仕掛品	15,809	15,043
貯蔵品	53,167	54,208
繰延税金資産	614,145	489,283
その他	613,845	925,296
貸倒引当金	6,097	6,804
<b>流動資産合計</b>	<b>8,271,162</b>	<b>9,107,969</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	4,332,867	5,629,126
土地	4,936,062	6,013,434
建設仮勘定	444,735	201,037
その他(純額)	1,757,936	1,889,361
<b>有形固定資産合計</b>	<b>11,471,601</b>	<b>13,732,960</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	8,176,760	8,634,325
ソフトウェア	35,565	36,128
その他	51,052	59,883
<b>無形固定資産合計</b>	<b>8,263,378</b>	<b>8,730,338</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	54,060	55,501
差入保証金	1,640,040	1,609,092
繰延税金資産	797,466	766,539
その他	333,089	401,241
貸倒引当金	41,522	41,328
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>2,783,134</b>	<b>2,791,046</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>22,518,114</b>	<b>25,254,345</b>
<b>資産合計</b>	<b>30,789,276</b>	<b>34,362,314</b>

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	5,615,995	6,095,868
短期借入金	3,015,000	6,192,000
1年内返済予定の長期借入金	1,543,066	1,606,799
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	459,443	162,078
繰延税金負債	10	22
賞与引当金	702,153	380,289
ポイント引当金	9,359	8,992
その他	2,980,215	3,493,401
<b>流動負債合計</b>	<b>14,375,244</b>	<b>17,989,452</b>
<b>固定負債</b>		
社債	75,000	50,000
長期借入金	7,510,908	8,666,034
繰延税金負債	1,298	1,278
退職給付引当金	768,344	799,680
役員退職慰労引当金	349,448	354,125
その他	1,472,995	1,543,162
<b>固定負債合計</b>	<b>10,177,994</b>	<b>11,414,280</b>
<b>負債合計</b>	<b>24,553,238</b>	<b>29,403,733</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,091,001	1,091,001
資本剰余金	900,747	900,747
利益剰余金	3,835,561	3,947,939
自己株式	45,048	1,200,695
<b>株主資本合計</b>	<b>5,782,262</b>	<b>4,738,994</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	2,613	3,534
繰延ヘッジ損益	42,318	35,766
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>39,705</b>	<b>32,231</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>493,480</b>	<b>251,819</b>
<b>純資産合計</b>	<b>6,236,038</b>	<b>4,958,581</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>30,789,276</b>	<b>34,362,314</b>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	12,869,149	15,038,156
売上原価	8,330,967	9,711,824
売上総利益	4,538,181	5,326,332
販売費及び一般管理費	4,207,745	4,695,689
営業利益	330,435	630,642
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,051	998
業務受託料	7,625	10,047
設備賃貸料	7,333	7,501
雑収入	15,035	8,079
営業外収益合計	31,046	26,627
営業外費用		
支払利息	65,301	66,215
雑損失	9,784	3,092
営業外費用合計	75,086	69,307
経常利益	286,395	587,962
特別利益		
固定資産売却益	947	2,709
受取補償金	-	6,867
資産除去債務戻入益	-	7,874
特別利益合計	947	17,451
特別損失		
固定資産除却損	554	14,503
店舗閉鎖損失	372	860
その他	264	418
特別損失合計	1,191	15,782
税金等調整前四半期純利益	286,152	589,632
法人税、住民税及び事業税	98,212	165,488
法人税等調整額	74,619	175,094
法人税等合計	172,831	340,583
少数株主損益調整前四半期純利益	113,320	249,049
少数株主利益	23,960	32,797
四半期純利益	89,359	216,252

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	113,320	249,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120	929
繰延ヘッジ損益	581	6,551
その他の包括利益合計	702	7,481
四半期包括利益	112,618	256,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,657	223,725
少数株主に係る四半期包括利益	23,960	32,806

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(1)連結の範囲の重要な変更

連結子会社である株式会社ファーマホールディングが株式会社サン薬局の全株式を、有限会社アンナカ薬局の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めてあります。

なお、株式会社サン薬局及び有限会社アンナカ薬局は平成25年6月30日をみなし取得日としております。

連結子会社である株式会社コムファと株式会社エムアンドスリーは、平成25年4月1日に株式会社コムファを存続会社とする吸収合併を行っております。また、連結子会社である株式会社サンメディックと有限会社さつき薬局は、平成25年5月1日に株式会社サンメディックを存続会社とする吸収合併を行っております。

(2)変更後の連結子会社の数

18社

(追加情報)

(株式給付信託 (J-ESOP) における会計処理方法)

当社は、「株式給付信託 (J-ESOP)」を導入しており、当該株式給付信託に関する会計処理については、経済的実態を重視する観点から、当社と資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）は一体であるとする会計処理をしており、信託E口が所有する当社株式や信託E口の資産及び負債並びに費用及び収益については四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。

なお、平成25年6月30日現在において信託E口が所有する自己株式数は118,700株であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	194,773千円	239,871千円
のれんの償却額	109,067千円	143,378千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	97,381	15.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	103,873	4.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

（注）配当金の総額には、株式給付信託（J-ESOP）の導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が保有する当社株式に対する配当277千円を含めて記載しております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成25年5月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により、自己株式は当第1四半期連結会計期間において、1,155,646千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、1,200,695千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品等 ネット ワーク事 業	調剤薬局 事業	賃貸・設備 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	323,234	12,308,420	182,399	55,095	12,869,149	-	12,869,149
セグメント間の内部 売上高又は振替高	342,347	1,222	93,389	-	436,960	436,960	-
計	665,581	12,309,643	275,789	55,095	13,306,109	436,960	12,869,149
セグメント利益 又は損失( )	302,420	251,107	41,362	6,015	588,875	258,439	330,435

(注) 1. セグメント利益の調整額 258,439千円には、セグメント間取引消去 17,052千円、各報告セグメントに分配  
していない全社費用 241,386千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社  
的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品等 ネット ワーク事 業	調剤薬局 事業	賃貸・設備 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	345,656	14,439,401	195,480	57,618	15,038,156	-	15,038,156
セグメント間の内部 売上高又は振替高	389,299	1,107	98,839	-	489,246	489,246	-
計	734,956	14,440,509	294,319	57,618	15,527,403	489,246	15,038,156
セグメント利益 又は損失( )	362,517	570,574	11,748	389	920,954	290,311	630,642

(注) 1. セグメント利益の調整額 290,311千円には、セグメント間取引消去 12,701千円、各報告セグメントに分配  
していない全社費用 277,610千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社  
的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬品等ネットワーク事業」セグメントにおいて、株式会社エムエムネットの全株式を取得したこと  
により、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては247,788千円であります。

( 1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	3円44銭	8円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	89,359	216,252
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	89,359	216,252
普通株式の期中平均株式数(株)	25,968,528	24,734,209

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 「普通株式の期中平均株式数」の算出に当たって、株式給付信託が所有する当社株式は、自己保有株式ではないため、自己株式数に含めておりません。

(重要な後発事象)

阪神調剤ホールディング株式会社との合弁会社設立について

当社は、平成25年5月1日開催の取締役会において、阪神調剤ホールディング株式会社と、医薬品仕入及び流通の共同取組、医療機器の共同購入及び不動在庫の消化を主たる目的とする新会社を合弁で設立することを決議し、平成25年7月1日付で設立いたしました。

(1) 新会社設立の理由

平成24年11月14日付で締結した業務提携の内容で定めている、医薬品仕入及び流通の共同取組、医療機器の共同購入及び不動在庫の消化を実施するため。

(2) 新会社の概要

名称：株式会社 H & M

事業内容：医薬品仕入及び流通の共同取組、医療機器の共同購入及び不動在庫の消化

資本金：50,000千円

出資比率：当社51.0%（うち間接保有2.0%）

取得株式数及び取得価額

ア. 取得株式数：510株（うち間接保有20株）

イ. 取得価額：25,500千円（うち間接保有分1,000千円）

(3) 設立年月日

平成25年7月1日

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月2日

株式会社 メディカルシステムネットワーク  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 香 川 順 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 津 村 陽 介 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルシステムネットワークの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルシステムネットワーク及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。